

(様式1)

「家庭学習MGC」実践例

阿久根市
教育委員会

大川小学校 6年

○ 家庭学習の基本的な考え方

- ★ 10分×学年+30分以上を目安にして、家庭学習を行う。
【例】6年生…10分×6年+30分以上=90分以上

- ★ 家庭学習の内容は、授業中の振り返りをもとにして、基本的に子供自身が決定する。

- ★ スコラ手帳を活用し、学習の計画や振り返りを行う。

- ★ 学級PTAや教育相談等において、保護者と家庭学習について課題を共有し、個に応じた改善策を検討・実施する。

主に放課後の習い事に合わせて、曜日ごとに取り組みたい課題を子供たち同士で話し合い、家庭学習の内容を決定した。

自分たちで課題を選択・決定したこと、意欲的に家庭学習に取り組む様子が見られるとともに、子供たちが一週間の見通しをもちらながら、計画的に家庭学習に取り組むようになった。



○ MGCの取組

【小学6年生 社会科のMGC】

単元テスト学級平均90点以上を達成するために、子供の主体性を大切に取り組んだ家庭学習

★ 子供の思い

歴史の学習は、聞いたこともない人物が出てくるから難しい。しかし、テストで100点（学級平均90点以上）を取りたい。

★ ポイント

【スコラ手帳】

阿久根市の小学校高学年・中学校で取り入れられている「スコラ手帳」を活用し、家庭学習時間の記録や、学習の計画・反省ができている。

武士の世の中へ

【めあて】
源頼朝（ミナモトヨリトモ）は、どのような武士の政治を目指したのだろう。

打倒平氏！！
★ 頼朝のうちに、武士が次々に集まつた。なぜ？
→ 平氏の暴政を打倒するためだ。

★ 平の源義経（ミナモトヨシシキ）たちは、戦いで次々に勝ち、平氏を西方に追いつめた。
→ついでに平氏を、「源氏」（山口島）でほうぼした。

【まとめ】
合戦で幕府をつくづくしたが、ついでに平氏を打ちのめした。2025/9/12

【読み】
みんなでさきんと
教えてくれました。

6年
9月

実践



源頼朝



源氏の戦い



源氏

★ 頼朝（ヨリトモ）は、弟の義経（ヨシヅネ）をほうぼした。
なぜ？第なのに！
→ 平の暴政を打倒するためだ。

★ 1192年、頼朝は武士のからして朝廷から【征夷大将军】に任命された。
→ 頼朝が鎌倉に開いた武士による政

治を行なうための政府は、
【鎌倉幕府】とよばれた。

2025/9/12

6年
9月

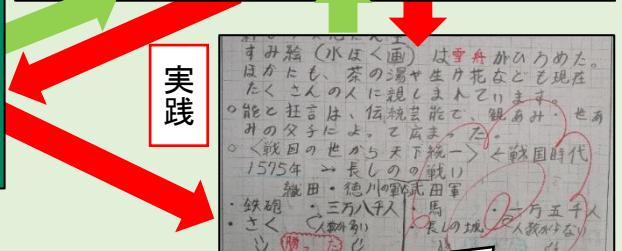
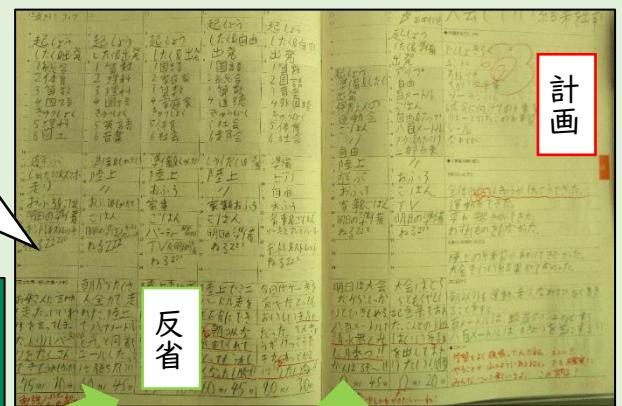
反省

【学習支援アプリ】

社会の学習は、基本的に学習支援アプリを活用してまとめている。単元の初めに、その単元で使用するテキストや資料をまとめて配布しておくと、前日に教科書を使用して予習をする子供が増えた。

【自主学習ノート】

学校で学習したこと、その日のうちに自主学習ノートにまとめている。文字だけまとめる子もいれば、歴史上の人物の関係を図や絵を使ってまとめてくる子もいる。自分に合った学習方法を見出しながら、家庭学習を行っている。



(様式 1)

「家庭学習MGC」実践例

出水市
教育委員会

江内小学校

○ 家庭学習の基本的な考え方

★ 江内っ子スタンダード

〈目標〉

低学年

学習の場所・時間を決め、家庭学習を習慣化する。

中学生年

学習内容に応じ、自分で時間配分を決めて取り組む。

高学年

自分で学習内容を考え、見通しをもって取り組む。

〈家庭学習の声かけ〉

宿題を確実に済ませよう。

宿題を済ませて、読書をしよう。

宿題を済ませて、自分に必要な学習をしよう。

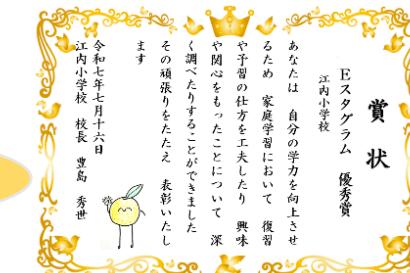
〈宿題〉

(全学年共通)

- ・音読
 - ・プリント
 - ・ドリル
 - ・読書
- 江内っ子ワーク**
- ・日記
 - ・漢字

(3年生以上)

 - ・ローマ字、外国語
 - ・自学ノート



★ スタディーウィーク

基本的な生活習慣の確立と家庭学習の質の向上を目指し、学校と家庭が連携し、生活・学習習慣のチェックを行う週間を設定している。

〈チェック項目〉

- 就寝・起床時刻
- 宿題を始める時刻
- 学習時間
- メディア（テレビ、ゲーム、タブレット、スマホ）を利用した時間

(お家人と話し合って)

自分で決めたことを守れたかな？

保護者への協力依頼（児童の自律・自立を応援するために）

- ・児童の頑張りを褒めてあげてください。
- ・うまく取り組めない場合は、一緒に改善策を話し合ってください。
- ・取組を振り返り、お家の方から「ひとつこと」記入してください。

○ MGCの取組

【小学校3～6年生 MGC】

児童自らが価値ある学びを実感できる「自学ノート」の実践

★ 自学ノートのねらい

児童が自分に必要だと考える学習をする「自学ノート」の実践を通して、学びの価値を実感するとともに、「やらされる学習」から「自らやる学習」への転換を目指す。

★ 「自学ノート」に見られる工夫

自ら学習のねらいや時間を設定し、設定した時間内で、質の高い内容を追究している。

授業中に学習したこと、更に調べるなど、自分の興味・関心に応じた学習を進めている。

まなびポケット上にある問題から、自らの習熟の程度に応じて問題を選択し、取り組んでいる。

★ 実践のポイント



丁寧さや内容の工夫等の観点から表彰する。



表彰者の工夫を価値付け、工夫を全体で共有する。



モデルになる自学ノートを校内に掲示する。

★ 取組の成果（児童の変容）

- ・「自分のめあての設定」や「解決方法の選択・決定」など、学びを調整しながら家庭学習に取り組み、自分の課題を解決する経験を繰り返している。
- ・自分の学習を自信をもって進め、児童自らが学びの価値を実感している。
- ・自分の興味・関心に応じた学びを進めることで、学習の深化が見られている。

(様式1)

「家庭学習MGC」実践例

薩摩川内市
教育委員会

東郷学園義務教育学校 4年

○ 家庭学習の基本的な考え方

- ★ 計画を立てて、自分のペースで学習を進める練習をしましょう！
… 薩摩川内市では、4年生が家庭で学習する目標設定時間は70分。
まずは、家庭で学習する時間を確保できるようになろう！
さらに、自分に必要だと思う学習を計画する習慣を身に付けよう！

- ★ 自分が「やろう」「やりたい」と思える取組をしましょう。
… ・ 今日学んだことをまとめなおすことで、しっかり覚える取組。
・ プリント等で練習問題を解き、自分で採点する力を高める練習。
・ 漢字検定や数学検定に向けて、みんなより先のことを自主学習。
自分で考え、決めて、チャレンジする力を、日々高めていこう！

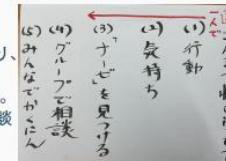


今日のトピック 気持ちの変化を読み取る力を高めよう！

国語では今、登場人物の気持ちの変化を読み取り、感想を書く力を身に付けるために、「こんぎつね」の登場人物の行動や気持ちを読み取り、考える練習をしています。

文章から「こん」が兵十から逃げたり、巣穴の近くの木の下で後ろを振り返ったりするといった行動を読み取ることはできても、なぜ逃げたのか、どんな気持ちで振り返ったのかの気持ちを考えるのは難しいようです。そこで、国語は次のような流れで進めています。

- ① 5分 漢字学習（ドリル、ミニテスト等）
- ② 2分 今日の学習範囲の確認
- ③ 10分 (1) 文章を自分で読み、「こん」の行動を読み取り、(2) 気持ちを考え、(3) 1人では思いつかなかつたところを洗い出す。
- ④ 5分 (4)～(3)でもった考え方や問い合わせグループで相談
- ⑤ 15分 (5)～(3)で見つけた「なぜ？」をみんなで確認
- ⑥ 8分 今日のまとめと振り返り、次の準備



学校で学習している内容や学び方を家庭と共有します。
その際に、授業の中で重視したい活動（対話の時間確保）と、子どもが一人でできるようになってほしいことを示し、ノートを見たり、音読を通じて対話したりするなど、家庭できそうな活動例を紹介することで、保護者の理解や見届け・声かけの協力をお願いしています。

○ MGCの取組

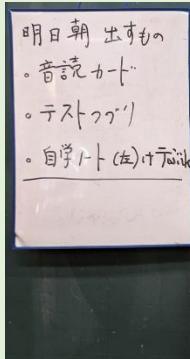
【小学4年生 国語科・算数科学習を充実させるためのMGC】

国語：登場人物の行動や気持ちを考えてから授業に臨む家庭学習

算数：四捨五入を行う位に着目し、概数に処理する力を高めてから授業に臨む家庭学習

※ 子ども本人の判断で、国語と算数のどちらかを重点化するか（両方も可）を選べるようにする。

1 帰りの会において5分程度、家庭学習の計画を立てる時間を設定



当日の学習内容から家庭学習に取り組む例を担任が例示することで、計画を立てやすくする。

[MG1]
国語のノートに、明日学習する場面4を予習してこよう！

けでんれシート

け(計画)	やること	時間	○○△
1	こうじかーとく(4回)	36分	○
2	おんじく(4回)	16分	○
3	ちよし、どくしょ	16分	○
4	こうひ	60分	○
5	ごまたらじかく(4回)	30分	○

テスト 140分 100点

できたことに(◎・○・△)を記して、点数をつけること…

ぶ(ぶんせきせき、明日の練習に生かそう！)
+ (できたこと、がんばったこと)
こうじかーとく(4回)は人の気まとうと行う重ね言葉で、(今日の自学ノートのかい)4回のうちにがんばってこなさないといけないところ)

(明日の自分が練習すべきことなど、メッセージを一言で)
もとからいふう

いい

(明日の自分が練習すべきことなど、メッセージを一言で)
もとからいふう

(様式1)

「家庭学習MGC」実践例

長島町
教育委員会

蔵之元小学校
5・6年

○ 家庭学習の基本的な考え方

★ 主体的に学習に取り組もうとする心と力を身に付けよう！

- 「自分に必要な学習が何か」「今の自分にたりない学習は何か」は、人によって異なる。自分に必要な学習に目を向けることができるように、学習内容や学習時間の指導を個別に行う。

★ 合言葉は

「量より質」「自分で自分をコントロール」「学習を楽習にしよう！」

- 時間よりも内容を重視。家庭学習を自分で決めるからこそ自己調整力を養うことが必要。学習を楽しむことを目指して個別に学習方法をサポート。

子供たちに配付している資料

家庭学習のルール

① 自分で計画を立てて行う

- いつするか・何をするか
- やるべき内容を自分で調整しよう。

② 計画を立てたらていねいに実行する

- 教科を均等に

- 授業の復習 ○自分の疑問

- ・日記は自由

- ・漢字は計画に沿って実施しよう！

③ 終わったら振り返りをする

- 計画通りできたか

- ・学習のルマは達成できたか

- ・テストの結果はどうだったか

各単元のテストで

学習の成果を發揮しよう

① 家庭学習のルール

家庭学習を行うに当たってのルールを作成し、配付した。

ノートの見えるところに貼り付けることで、毎回の学習で意識できるようにしている。



夏には蔵之元～牛深をカヌーで横断！

○ MGCの取組

【小学6年生 理科のMGC】

「苦手…」を「好き！」に変えるために、自分の苦手な単元に取り組んだ家庭学習

★ ポイント

単元テストの点数が目標に届かなかった単元について、学期末のまとめテストも視野に入れて、計画を立て、自分に合った方法で家庭学習の「一人学びノート」にまとめる。

どうして、その勉強をするの？がんばる理由を教えてね

自分が主に学ぶ中で、いかでな単元だかう。

自分の学習を振り返ろう（できたら☑）

□集中して勉強できた？
□ていねいに勉強できた？
□勉強したことは理解できた？

今日の勉強はどうだった？文章にして振り返ろう

「うつや経て、まじめことか出来た！
忘れないように見返そうと思う。」

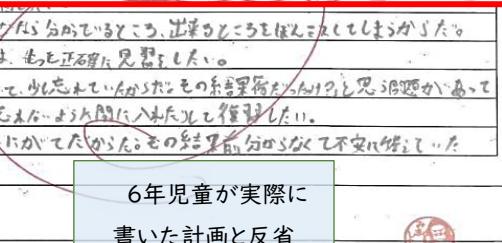
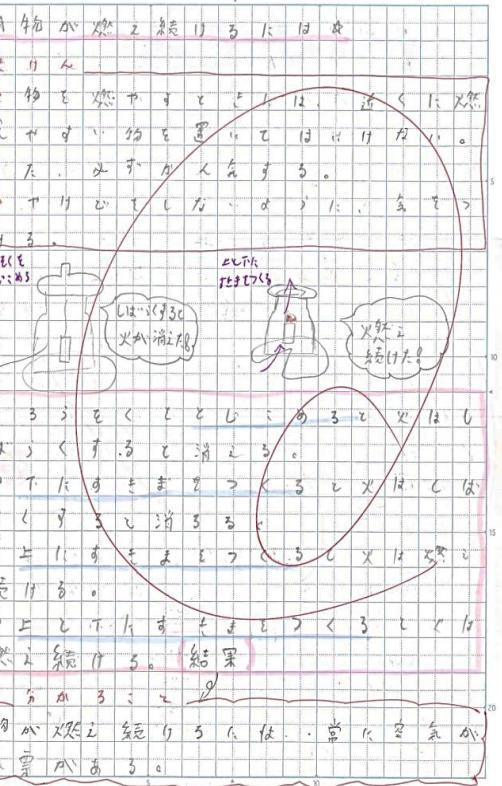
お家の人のサイン

「一人学びノート」を活用して、単元テストで間違えた問題に関係する教科書やノートの内容を自分なりの方法でまとめることができていた。また、自分が納得するまで何度もまとめる児童もいた。

子供たちは、自分なりの目標を立て、学習の計画を立てた。その計画の中で、自分の苦手に目を向けて取り組むことができるように声掛けを継続した。また、テスト終了後に学習方法や学習内容について振り返りを書く時間を設けることで、今回の頑張り、次回への課題を明確にすることができていた。

学習を自分でスケジュールしてみよう。		【テストの目標】
現状→計画→実行→振り返り		単元「学びがいたしまじめかねよう」にね。 通じて、田舎ひ。
計画的に、主体的に学習に取り組む心・力を身に付けよう		【テスト勉強の計画】
教科	テスト範囲	6月26日(水)～6月28日(金) 6月29日(土)～6月30日(日)
国語	教科書P18～81	6月27日(木) 6月28日(金) 6月29日(土) 6月30日(日)
理科	教科書P10～59 「ものの燃え方と空気～植物」 やるべきこと ・物の燃え方と空気～植物にかけて ・人間について	7月4日(月) 7月5日(火) 7月6日(水)

社会	政治・経済・歴史・文化・災害復興 教科書P1～3 「政治のむらから古のくにへ」 やるべきこと	7月3日(日) 7月4日(月) 7月5日(火) 7月6日(水)
理科	教科書P1～5 「ものの燃え方と空気～植物」 やるべきこと ・物の燃え方と空気～植物にかけて ・人間について	7月4日(月)
○ 学習のポイント	① 教科ごとの苦手な単元を分析する ② テスト・勉強の計画をする ③ 適当にするくらいなら、量を増やすのではなく、少ない量を丁寧に ④ テストの目標をよく見て。	(第) 計算のポイントをひき取った。なぜか自分ができるところ、出来うところをほんとうにしませんか？ その結果、間違えた箇所をまちがえた。次は、また正確に見習おう。 (社) 政治をしました。なぜかなぜか歴史をして、少し忘れていたかたはその系を復習したり、見渡題があっても、なかなか対応した次は、前で間違った事もあれば、また間違へんかんして反省したり。 (理) 物の燃え方をしました。なぜかこの単元がにかけていたかたはその結果、自分からなくて不安な併せて、問題が、なかなか見えたか。 次からもう1回見直したり、復習したりして、不安なところを直して行きたい。



6年児童が実際に
書いた計画と反省

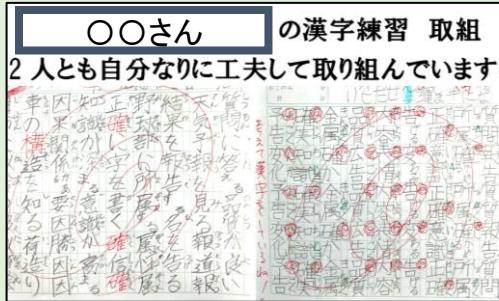
霧島市
教育委員会

国分南小学校 5 年

○ 家庭学習の基本的な考え方

- ★ 宅習帳を基本として、お決まりコース(漢字、日記、宅習、プリント、音読とお好みコース（自分に必要な学習）に取り組む。
 - ★ 5年生は定期的に「自主家庭学習期間」と題して、上記のお好みコースのみに取り組む、家庭学習期間を設定している。つまり、完全に自分で必要なことを考えて計画して取り組み、振り返る力が必要になる。
 - ★ 定期的に週報や学級設営で、優れた取組事例を紹介し、参考にさせてている。また、具体的な取組方法を保護者へも周知し、学校と家庭の共通理解を図りながら、見届けをしてもらうようにしている。

漢字練習について話題にした際の週報



一部抜粹

優れた取組を週報で紹介

【漢字練習に関して、子どもたちに話していること】

- ① 国語の学習している単元の字をメインで練習するが、どの字を書くかは個人で違ってよい。
 - ② 字形を確認したいなど、意図があって同じ字を繰り返し書くのは構わないが、基本は文を書いて練習する。
 - ③ 字を写すのではなく、読みから書いて問題を解くように書くなど、目的意識をもつ。
 - ④ 間違いが多い字は、漢字スキルにチェックを入れ、学期末などの復習時に生かす。

○ MGCの取組

【小学5年生 体育科のMGC】

よりよい動きを追究するために、体の動きを分析した家庭学習

① 宅習で理想の体の動きを分析

家庭學習 自主學習期間

- ・1日70分は目指す
 - ・次の日に提出する
 - ・「何をする」「何にまとめる」などは自分で考える

日付	取り組んだこと(時間も)	ふりかえり、反省、取り組むこと
9/2	英語（小1から中3まで）漢字5年 60分	しっかりと自主学習に取り組めた。
9/3	四字熟語 国語 サンタさんはいるかいないか 72分	四字熟語でいろんなことが知れた。
9/4	一学期の復習 75分	忘れていたことも思い出すことができた。
9/5	「走り幅跳びはどのようにして跳ぶと良いの」 を考えた！50分 （日記 漢字もした）20分	走り幅跳びの跳び方を知ったので、月曜日にそのやり方で跳んでみたい。

1週間のふり返り 自分から進んで自主学習に取り組めた。

「走り幅跳びはどのようにして跳ぶと良いの」を考えた！50分（日記 漢字もした）20分

走り幅跳びの跳び方を知ったので、月曜日にそのやり方で跳んでみたい。

- ★ 授業の単元の流れを意識し、自分の課題解決のために学習に取り組んでいる。
 - ★ 体育科の授業以外にも「英語」や「一学期の復習」など自分のための学習につなげている。

②考えたことを実際の授業で実践



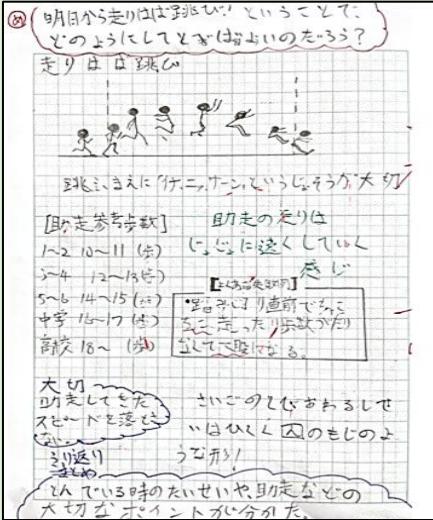
記録表(その日の自己ベストを記録しよう)				
9月22日	10月9日	10月10日	10月14日	10月15日
2m66cm	2m81cm	2m62cm	2m98cm	2m98cm
目標記録	3m30cm	自己ベスト	2m98cm	

単元の振り返り宿題で学んだことを意識して跳ぶと自己ベストを更新することが可能。次は高く跳ぶことを意識して、跳びたい。

- ## ★ 動きをタブレット端末で撮影してもらっている

- ★ 自分の学びを振り返り、次の課題を設定している。

実際の取組内容



(様式1)

「家庭学習MGC」実践例

伊佐市
教育委員会

牛尾小学校 5・6年

○ 家庭学習の基本的な考え方

- ★ 宿題（家庭学習）は、自分のために行うもの。そのため、量や内容は、自分で計画を立てること。
- ★ 特に「宿題」では、今の自分に足りない学習を考える。与えられたものだけで満足せずに「自分のための学習」にチャレンジすること。

宿題のススメ

～自分のための勉強をする方法～

本来、勉強は「自分のため」にするものであり、人のためにするものではありません。そのため、5年生から先は、自己責任で学習を進めていくことになります。
今の自分に足りない勉強は何か？ 何が分かっていないのか？ もっと覚えないといけない内容は何か？ そういうことをしっかりと考えて、自分の力にするために行うのが「宿題」です。つまり、今までのよう、「先生からだいだえられたものをこなすだけの宿題ではなくなる」、ということです。「自分のための学習」ができるようになるために、がんばってみましょう。

～宿題によくある3パターン～

A. がんがんドリルスタイル

- とにかく問題を解きます。
- 自分で丸つけします。
- 間違っていた問題を解き直します。

C. 新しい発見スタイル

- テストとは関係ないかもしれないけど…気になったものを自分で調べてまとめます。
- ※ 国語辞典を使った意味調べ、国調べ、その他「自分のため」になるものなら何でも。

～宿題をする手順～

① 計画を立てる。

- ・何の教科を学習するのか。 →国語・算数・理科・社会・外国語・音楽・体育などのスタイルにするのか。 →A・B・C
- ・どんなレイアウトにするか。 →2分割・4分割など

② 宿題をする。

- ・4年生…50分 5年生…60分 6年生…70分
- ・家の勉強は「学年の数字プラス10分」が目安です。

③ 分析をし、明日に生かす。

- ・自分の出来るようになったこと、理解の高まりを振り返りましょう。
- ・「この宿題で、○○が分かった（できるようになった）！」を感じましょう。

★ 4月の説明時に、児童・保護者に配布したプリントの抜粋。

★ 宿題・漢字・音読・プリントを、計画立てて行う。

(1) 宿題

方眼ノートの見開き1ページに、学習と日記を書いてくる。宿題は3つのパターンから選択する。

(2) 漢字

自分が覚えていない漢字を100字帳に書き、やり直しまで行う。

(3) プリント・音読

教師主導で出す。

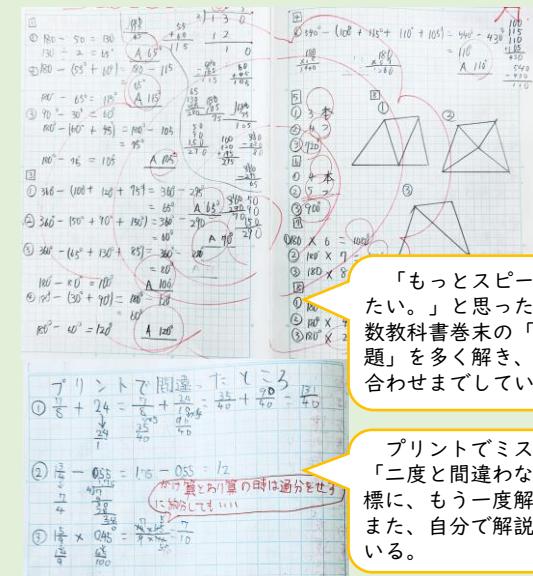
○ MGCの取組

【小学5・6年生 宅習のMGC】

宿題を自分事にするために、“自学”を意識した家庭学習

★ポイント

A. がんがんドリルスタイル



「もっとスピードアップしたい。」と思った児童が、算数教科書巻末の「ほじゅう問題」を多く解き、自分で答え合わせまでしている。

プリントでミスした児童が「二度と間違わない。」を目標に、もう一度解いている。また、自分で解説まで入れている。

C. 新しい発見スタイル



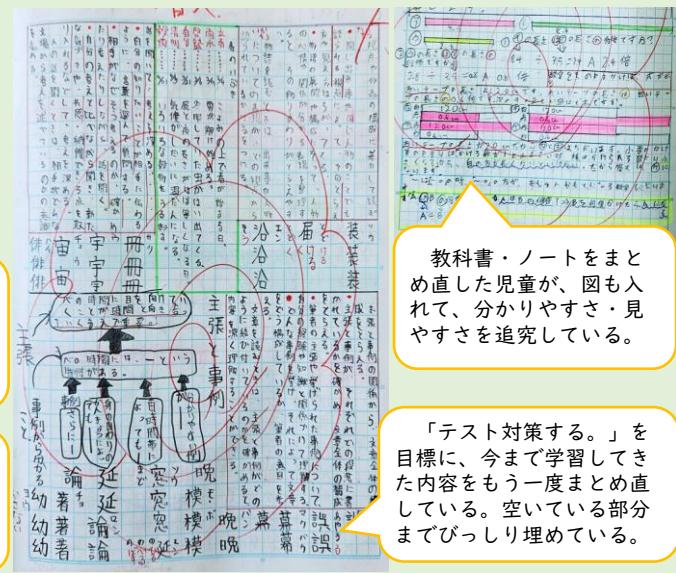
総合的な学習の時間に、「学習支援アプリを使って未来の牛尾小を創造しよう」という活動を行った。

そこで、どんな学校が作れるか、そのためにどんなマイクラの技術が必要かを、宿題でまとめてきた。

- ★パリアフリーのために
- ★自然いっぱいにするために
- ★移動を楽にするために

他にも「国旗」「四字熟語」「ことわざ」など、自分の興味・関心に基づいてまとめている。

B. 授業の復習スタイル



教科書・ノートをまとめて直した児童が、図も入れて、分かりやすさ・見やすさを追究している。

「テスト対策する。」を目標に、今まで学習してきた内容をもう一度まとめて直している。空いている部分までびっしり埋めている。

～成果・課題～

- 宿題の中身を示して選択できるようにし、宿題をする手順を指導すれば、児童は自由に学んでくることが分かった。その主体性を褒めつつ「今、あなたに必要な学習は？」を問いかけながら、引き続き指導する。

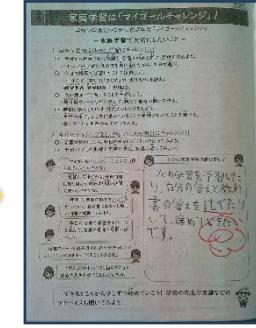
- 家庭学習は、保護者の協力も必ず必要になる。音読や見届けなどによる労いや励ましなどで、児童の自己肯定感を家庭からも高めていきたい。

(様式1)

「家庭学習MGC」実践例

姶良市
教育委員会

桝城小学校 6年



○ 家庭学習の基本的な考え方

- ★ 家庭学習でも「学習者主体」を意識し、子供が「何を」「どのように学習するのか」を決め、「学習の自立」を目指す。
- ★ 全学年で取り組む。
- ★ 基本的に「学習の進め方（目標）」は、子供自身が決める。
 - ・ 子供の実態に応じて、教師が示す目標例から決めてよい。
 - ・ 量から質への転換ではあるものの、「～を〇分間がんばる」などの目標も可とする。
 - ・ 決めた目標は、宅習ノートに記載するなどをし、保護者も把握できるようにする。
- ★ 教師は、宅習のチェックをする際に、各個人の目標を意識して評価をする。
- ★ 2学期1回目の「家庭学習がんばり週間（9月）」で、各個人の「学習の進め方」を軌道に乗せ、11月に実施する2回目で充実を図る。

保護者への通知文（メール）

桝城小学校より

保護者の皆様へ
お世話になります。

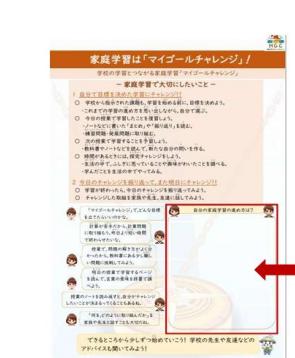
鹿児島県教育委員会では、児童生徒が自分にとって必要な目標を決めて、それをどのように達成するかを見通し、調整しながら学習に取り組むよう「学習者主体の授業」を目指した様々な取組を行っています。本校においても、その趣旨に沿った授業の工夫、改善を進めていこうところです。

このような中、家庭学習においても、子供たちが「何を」「どのように学習するか」をより意識し、学習の質を大切にしてほしいとの趣旨から、新たに「家庭学習マイゴーラチャレンジ」を開催していくこととなりました。この取組は、本校が目指す「自立」に向かって、「学習の自立」そのものであり、子供の学ぶ力を育むことにつながっていくと捉えてあります。

つきましては、別添の保護者用ちらしを御覧いただき、取組の趣旨や内容、具体例等について御理解くださるようお願いします。印刷したものも配布します。また、お子様に対してても、学校から児童用ちらしを配布されておりますので、2学期の始まりの機会を捉えて、親子で「自分の家庭学習の進め方」を話し合い、取り組んでいただきますよう、併せてお願ひいたします。

メール添付資料（子供には同ちらしを配付し、担任が説明、目標を記入した。）

小学生用ちらし



親子で確認してください。

○ MGCの取組

【小学6年生 国語科・算数科のMGC】

テストで85点以上取るために、漢字練習や教科書の練習問題に取り組んだ家庭学習

★ポイント 目標達成のために、学習内容や量の計画を立て、実行している。

週初めに宅習の計画を立てる。
(共通課題と自主課題)

自分自身が気を付けることを書き込む。

日々、振り返りを行い、保護者は確認をする。

自己の課題に応じて、自由に取れる プリントコーナー



6年生の作文 テーマ「自主学習」

マイゴールチャレンジは、自分で学習内容を決めるので、最初は何をすればいいのか分からなかったけど、今は自分で決めて進めるができるようになりました。

私は、苦手なところを多くやっています。テストがある週は、そのテストの教科をします。必ず取り組む共通課題と、自分で取り組む自主課題があります。時々、自主課題が少なくなることがあるので、これからは「質」を考えてがんばっていきたいです。

(様式1)

「家庭学習MGC」実践例

湧水町
教育委員会

栗野小学校 2年

○ 家庭学習の基本的な考え方

★ 学習習慣を確立

毎日決まった時間、決まった場所で机に向かう習慣を身に付けることは、将来の学習の土台となります。特に低学年では、短い時間からでも毎日継続することが大切です。

★ 自ら学ぶ力を育む

単に宿題をこなすだけでなく、調べる、まとめる、応用するなど、自ら課題を見付けて解決する力を養うことが重要です。

★ 学習は決まった時間、決まったところでします。

★ 机の整理整頓をします。

★ 「だらだら学習」や「ながら学習」はしません。

★ 1年生は30分、2年生は40分、3年生は50分、4年生は60分、5年生は70分、6年生は80分は、学習できるようにがんばりましょう。

★ 親子でふれ合ったり読書をしたりして過ごすことも大切です。

★ 午後9時以降はSNSにつながる機器を使いません。

町の方針

★ 基礎学力を定着

学校の授業で習ったことを家庭で復習することで、知識の定着を図り、学力の向上につなげます。

宿題は、この基礎学力定着のための重要な学習です。

学校の方針

町の基本方針を基に、学校の実態に沿った家庭学習計画を作成！



湧水町キャラクター
「ゆうたん」

全児童・家庭に配布し、いつも学習するところに掲示することで、共通実践につなげています！



○ MGCの取組

【小学2年生 既習漢字の定着に向けたMGC】

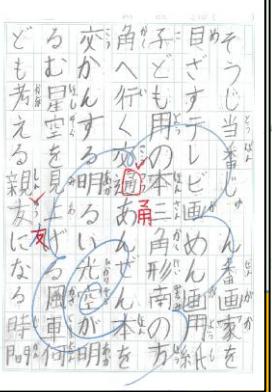
既習漢字を覚えるために、漢字復習プリントに取り組んだ家庭学習

★ ポイント

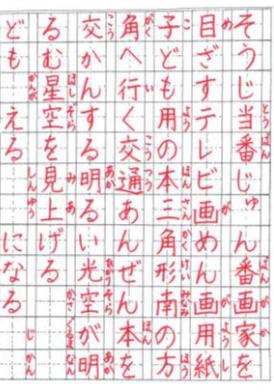
- 2年生の家庭学習の時間は40分
- 日常の課題は、漢字84字、プリント（算数または国語）、音読（国語・算数）など。
- 週末に日記

★ 具体例（1学期）【日常の漢字練習】

- ① 教師が、新出漢字の手本を作成する。
※ 毎週金曜日に手本を配布する。
- ② 児童が家庭学習で取り組む。
- ③ 教師が○付けを行い、訂正箇所を示す。
- ④ 児童は訂正箇所を書き直す。
- ⑤ 日常は①～④を繰り返し行う。



【児童のノート】



【手本】

日々積み重ねた努力の成果を、定期的または学期末に実感！称賛機会と自己肯定感の向上、自信へつなげる！

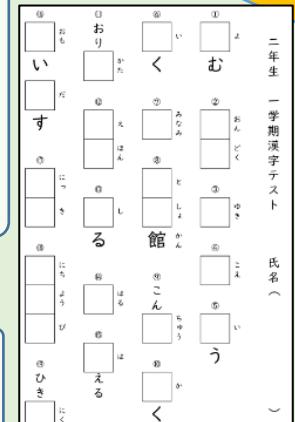


家庭

○ 工夫した点

【学期末の漢字練習】

- ① 各学期の「新しく学習する漢字・読み方」を単元順に並べたプリントを作成する。
- ② 児童が家庭学習で取り組む。
- ③ 教師が○付けを行い、訂正箇所を示す。
- ④ 児童は訂正箇所を書き直す。
- ⑤ 日常は①～④を繰り返し行う。



【プリント】

【解答】

★ 今後の展開

- 復習プリントを行うことで、学力向上が見られたので、全学年の家庭学習に漢字復習プリントを取り入れることになった。